

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年8月 福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 大平弘正

【研究課題名】更年期女性の生活習慣病におけるエクオールの影響

【研究期間】2020年8月～2023年7月

【研究の意義・目的】

国民健康・栄養調査では40-60代の約20%が肥満に該当します。肥満女性では、糖尿病・高血圧・脂質異常・脂肪肝などの生活習慣病の合併率が高く、更年期女性では女性ホルモンの減少に伴う糖・脂質代謝の変化が生活習慣病の発症に影響しております。一方、大豆イソフラボンは腸内細菌により分解されると、その一部は女性ホルモン作用をもつエクオールになります。しかし、エクオールの産生能には個人差があり、産生できる人と産生できない人が存在し、日本人でエクオールが作られる人は約50%と報告されています。更年期女性の検討では、エクオールが作れる人は更年期症状が軽度であること、さらにエクオール作れない閉経女性にエクオールを投与すると血糖や脂質異常が改善することが明らかになっております。また、我々の50-60代の更年期女性の検討でも、エクオールを作れる人では肥満が少ないことが明らかとなっております。本研究では、50-60代の更年期女性のエクオール産生の有無が生活習慣病に与える影響を明らかとすることが目的です。本研究の成果は更年期女性の生活習慣病の予防や治療に、重要な知見となることが期待されます。

【研究の対象となる方】

1. わたり病院で2018年2月～2019年1月に健診を受けた、受診時50-60代の女性で、「健診受診者における脂肪肝と睡眠に対するエクオールの影響」の研究に参加した方。
2. 研究開始後に共同研究施設で健診・人間ドックを受診する50-60代の女性で、本研究について説明を受け、参加に同意した方

【研究の方法】

対象者の健診での検尿の残りの検体を用いて、エクオールを測定します。健診結果（受診日、生年月日、性別、体重、Body mass index、腹囲、血圧、血液生化学所見、腹部エコー所見、特定健診問診票）とエクオール測定結果を福島県立医科大学で統計解析を行います。

上記1の対象者については、参加した研究におけるエクオール測定結果を本研究に利用させていただきます。

【研究組織】

研究代表者

（所属）福島県立医科大学医学部消化器内科学講座（職）教授（氏名）大平弘正

研究分担者

（所属）福島県立医科大学医学部消化器内科学講座（職）准教授（氏名）高橋敦史
共同研究機関の研究責任者

（所属）わたり病院健診センター（職）センター長（氏名）安齋幸夫

（所属）公立藤田総合病院（職）院長（氏名）近藤祐一郎

(所属) 福島赤十字病院消化器内科 (職) 主任部長 (氏名) 黒田聖仁
(所属) 寿泉堂クリニック人間ドック科 (職) 部長 (氏名) 國分正恵
(所属) 柗記念病院消化器科 (職) 部長 (氏名) 尾形隆

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 高橋敦史
電話:024-547-1202 FAX: 024-547-2055
E-mail:junior@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 高橋敦史
電話:024-547-2055 FAX: 024-547-2055
E-mail:junior@fmu.ac.jp

〒960-8141 福島県福島市渡利字中江町34
医療生協わたり病院健診センター センター長 安齋幸夫
TEL024-522-3446 FAX024-521-8757